

6. 復旧・復興に向けた取組状況

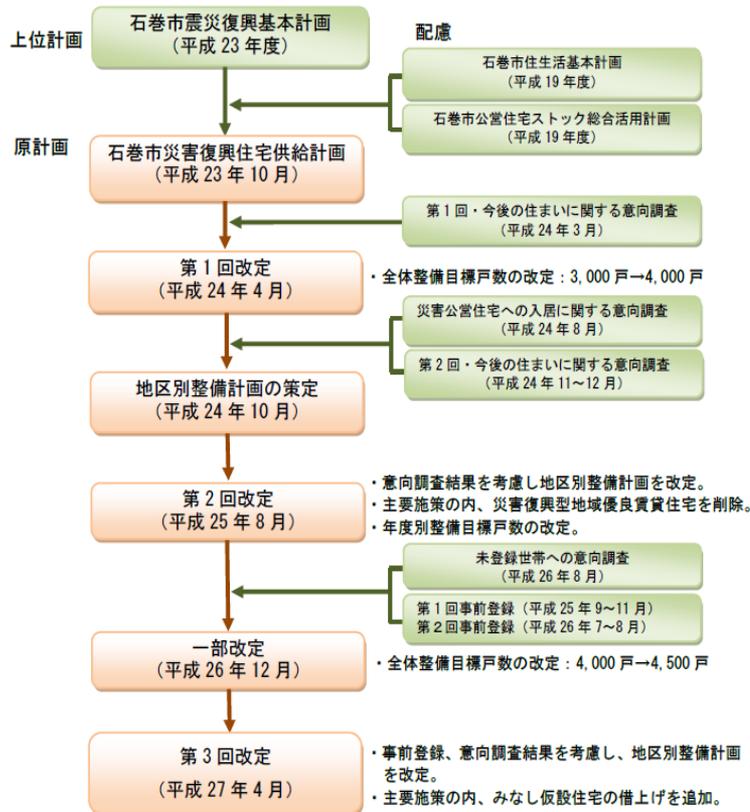
(2)市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
～住まいの再建～

石巻市復興公営住宅供給計画

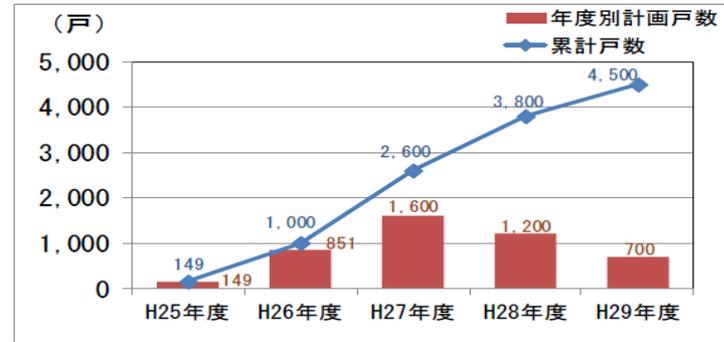
○整備計画戸数

市街地部 : 3,850戸
半島沿岸 : 650戸
合計 : 4,500戸

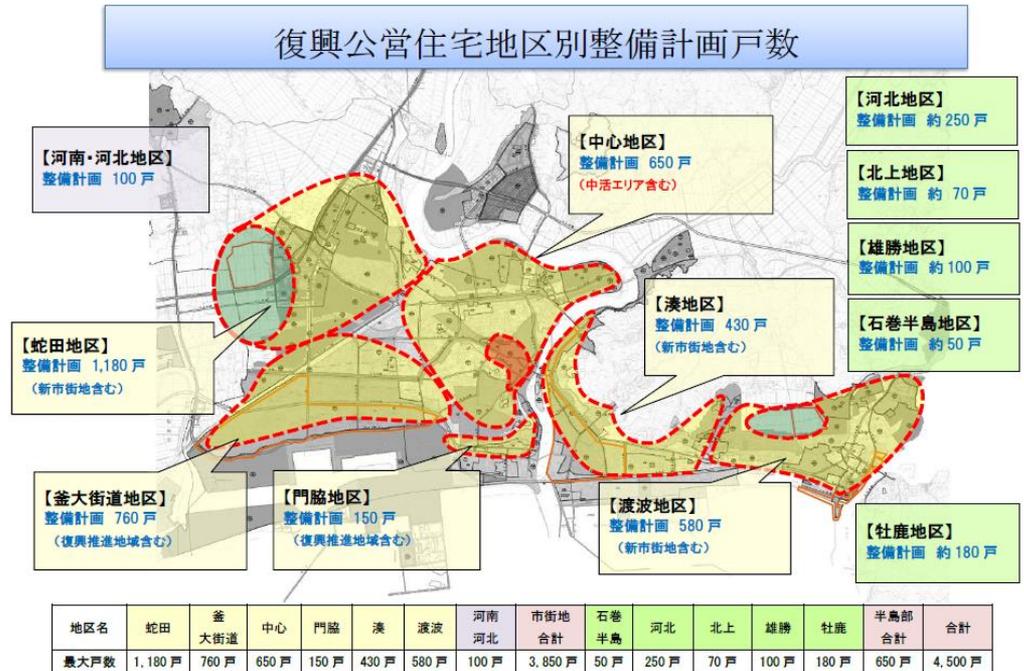
○供給計画改定経緯



○年度別整備計画戸数



○地区別整備計画



地区名	蛇田	釜大街道	中心	門脇	淡	渡波	河南河北	市街地合計	石巻半島	河北	北上	雄勝	杜鹿	半島部合計	合計
最大戸数	1,180戸	760戸	650戸	150戸	430戸	580戸	100戸	3,850戸	50戸	250戸	70戸	100戸	180戸	650戸	4,500戸

No. 5 市街地再開発事業

基本目標：1 東日本大震災からの復興まちづくりを早急かつ着実に進める

具体的施策：ア 居住環境の整備

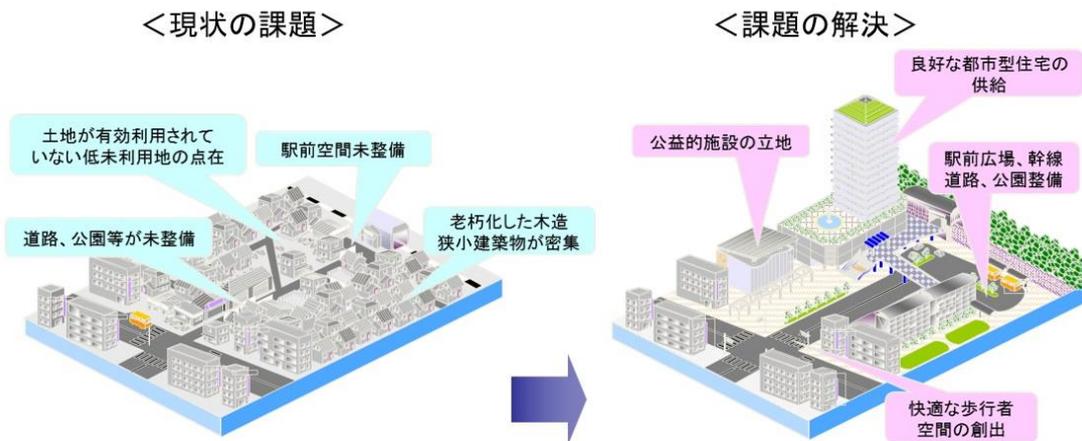
個別施策：① 被災者の居住環境の整備

●事業箇所及び住宅整備戸数

地区	分譲	復興公営	計
中央三丁目1番地区	77		77
立町二丁目5番地区	32	21	53
中央一丁目14・15番地区	25	54	79
	134	75	209

●市街地再開発事業の目的

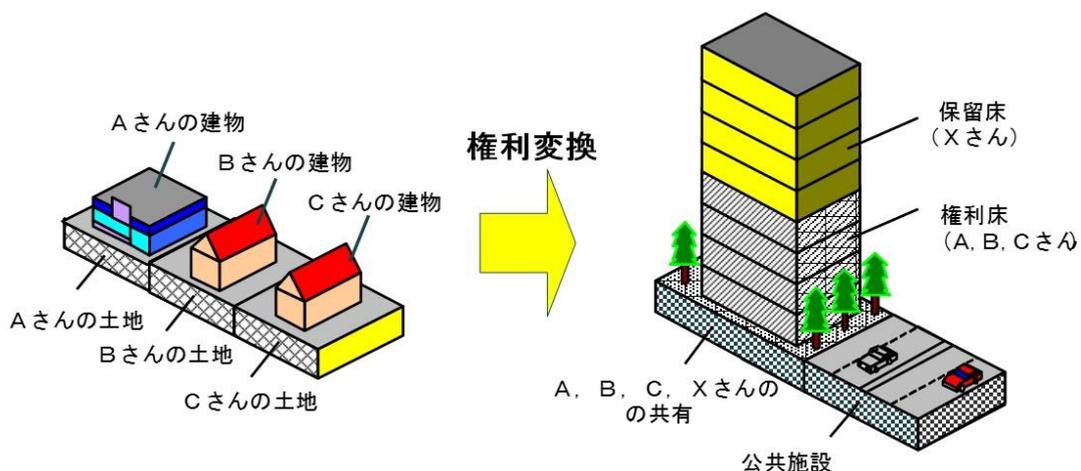
土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ります。



市街地再開発事業の実施

●市街地再開発事業のしくみ

施行区域内の宅地建物を評価し、それを新たに建設される再開発ビルの床に置き換え、余った床を処分することによって事業費を回収することが基本的なしくみです。

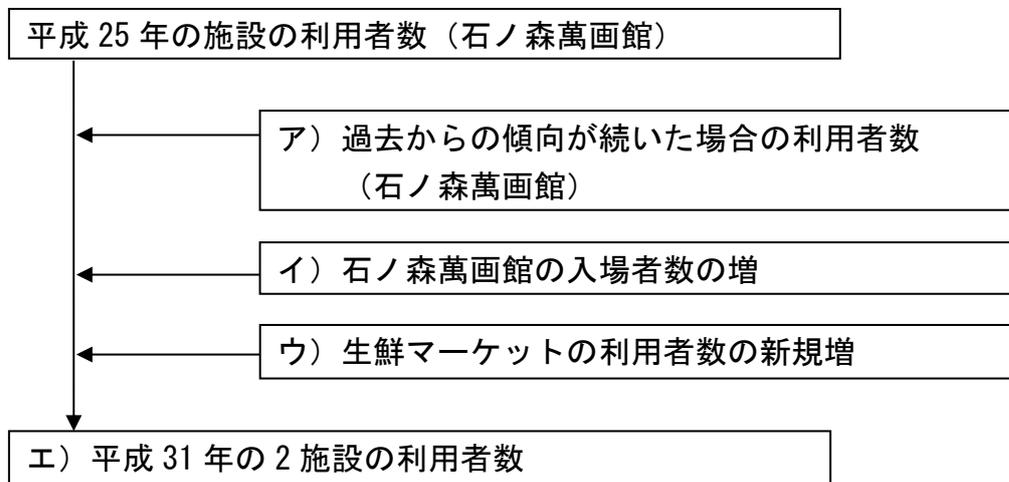


■目標 2-1 交流人口の増加 (指標 2: 2 施設の利用者数)

① 目標設定の考え方

中心市街地へ人々を呼び込むための核となる施設として、石ノ森萬画館と生鮮マーケットの 2 施設を位置づけ、そこから中心市街地全体へ人の流れをつくり、賑わいを生み出していく。そこで中心市街地の活性化の指標の 1 つとして、**2 施設の利用者数**を設定する。

② 設定の方法



ア) 過去からの傾向が続いた場合の利用者数 (石ノ森萬画館)

石ノ森萬画館の過去の総入場者数に回帰式を当てはめ、平成 31 年の入場者数を算出する。ただし、平成 23 年と平成 24 年については震災により数ヶ月しか開館しておらず、平成 25 年は、震災後リニューアルオープンや復興支援等の特殊要因があるため、ソフト事業の展開により施設利用者数として一定の上昇傾向が見られる平成 20 年から平成 22 年までの入場者数をもとに算出すると、平成 25 年は 193,336 人、目標年次である平成 31 年は **201,765 人**と推測される。

イ) 石ノ森萬画館の入場者数の増

特殊要因を除いた場合の平成 31 年の入場者数は、平成 25 年の入場者数より減少すると推測されるが、石ノ森萬画館での事業とともに関連するソフト事業を実施することにより、平成 25 年の入館者数を維持し、ア) の推計値より **39,435 人**上回る **241,200 人**を目標とする。

ウ) 生鮮マーケットの利用者数の新規増

新たに整備される生鮮マーケットについては、「石巻市観光交流施設整備計画」に基づき、観光客も地元客も来訪頻度の高い「いわき・ら・ら・ミュウ (福島県いわき市) 等の実績を基に推計した年間来場者数は最低 90 万人～最高 180 万人となる。

本施設は、持続的事業展開を重視し、適正な機能、規模の施設とすることとしていることから、過度な来場者予測を避け、中間値 130 万人を下回る **1,000,000 人**を利用者数として設定する。

エ) 平成 31 年度の 2 施設利用者数

ア) ～ウ) をもとに、平成 31 年度の 2 施設の利用者数の合計は、**1,241,200 人**となる。

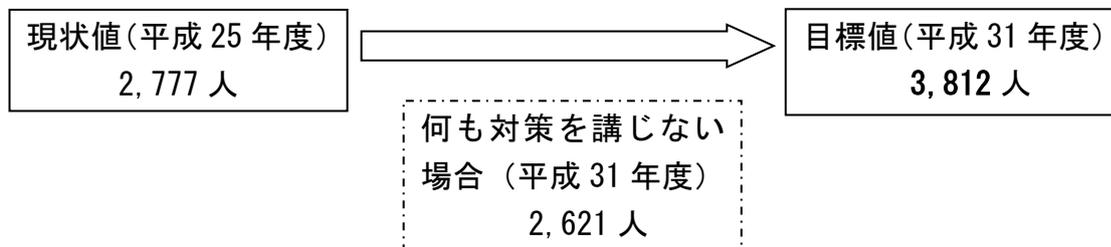
ア)過去からの傾向が続いた場合の増加	201,765 人
イ)石ノ森萬画館の入場者数の増	39,435 人
ウ)生鮮マーケットの利用者数の新規増	1,000,000 人
合 計	1,241,200 人

【数値目標の設定】

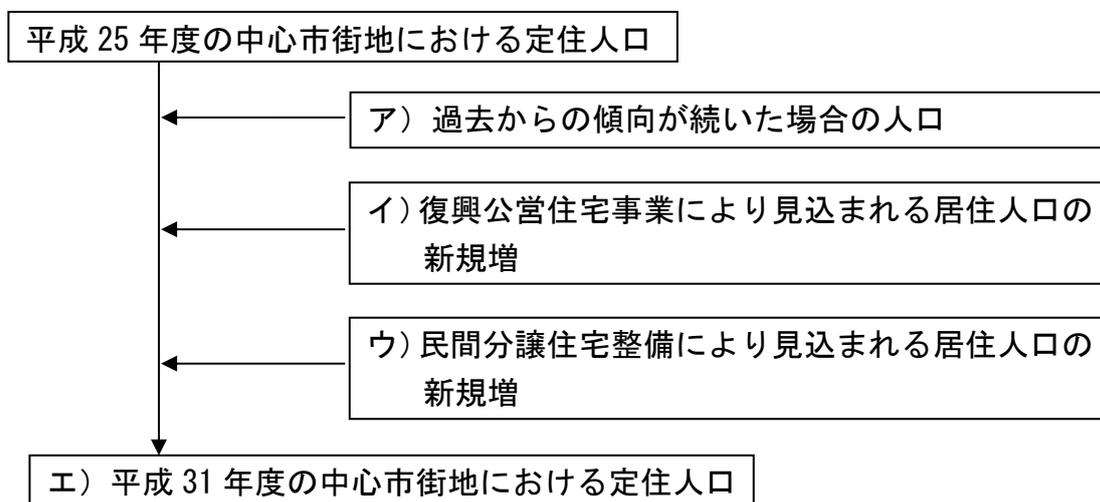
■目標1 定住人口の増加 (指標1: 定住人口)

① 目標設定の考え方

復興公営住宅などによる住む人による賑わいを測る指標として、中心市街地における定住人口を設定する。



② 設定の方法



③ 平成31年度の中心市街地における定住人口

上記ア、イ、ウより、平成31年度における中心市街地の居住人口は、3,812人となり、この数値を目標とする。

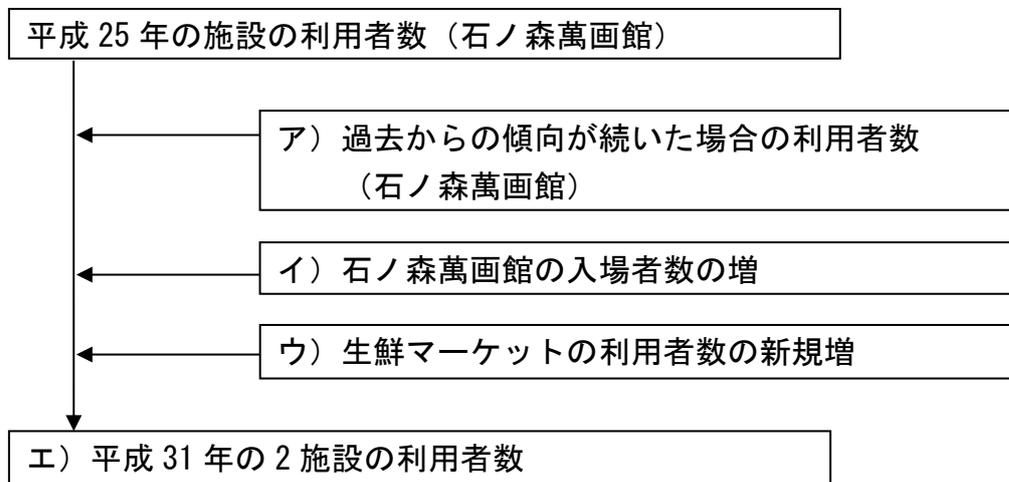
ア) 過去からの傾向が続いた場合の人口	2,621人
イ) 復興公営住宅事業により見込まれる居住人口	380人
ウ) 民間分譲住宅整備により見込まれる居住人口	811人
合計	3,812人

■目標 2-1 交流人口の増加 (指標 2: 2 施設の利用者数)

① 目標設定の考え方

中心市街地へ人々を呼び込むための核となる施設として、石ノ森萬画館と生鮮マーケットの 2 施設を位置づけ、そこから中心市街地全体へ人の流れをつくり、賑わいを生み出していく。そこで中心市街地の活性化の指標の 1 つとして、**2 施設の利用者数**を設定する。

② 設定の方法



ア) 過去からの傾向が続いた場合の利用者数 (石ノ森萬画館)

石ノ森萬画館の過去の総入場者数に回帰式を当てはめ、平成 31 年の入場者数を算出する。ただし、平成 23 年と平成 24 年については震災により数ヶ月しか開館しておらず、平成 25 年は、震災後リニューアルオープンや復興支援等の特殊要因があるため、ソフト事業の展開により施設利用者数として一定の上昇傾向が見られる平成 20 年から平成 22 年までの入場者数をもとに算出すると、平成 25 年は 193,336 人、目標年次である平成 31 年は **201,765 人**と推測される。

イ) 石ノ森萬画館の入場者数の増

特殊要因を除いた場合の平成 31 年の入場者数は、平成 25 年の入場者数より減少すると推測されるが、石ノ森萬画館での事業とともに関連するソフト事業を実施することにより、平成 25 年の入館者数を維持し、ア) の推計値より **39,435 人**上回る **241,200 人**を目標とする。

ウ) 生鮮マーケットの利用者数の新規増

新たに整備される生鮮マーケットについては、「石巻市観光交流施設整備計画」に基づき、観光客も地元客も来訪頻度の高い「いわき・ら・ら・ミュウ (福島県いわき市) 等の実績を基に推計した年間来場者数は最低 90 万人～最高 180 万人となる。

本施設は、持続的事業展開を重視し、適正な機能、規模の施設とすることとしていることから、過度な来場者予測を避け、中間値 130 万人を下回る **1,000,000 人**を利用者数として設定する。

エ) 平成 31 年度の 2 施設利用者数

ア) ～ウ) をもとに、平成 31 年度の 2 施設の利用者数の合計は、**1,241,200 人**となる。

ア)過去からの傾向が続いた場合の増加	201,765 人
イ)石ノ森萬画館の入場者数の増	39,435 人
ウ)生鮮マーケットの利用者数の新規増	1,000,000 人
合 計	1,241,200 人

表 7-2 調査地点別の歩行者・自転車通行量の推移（平日）

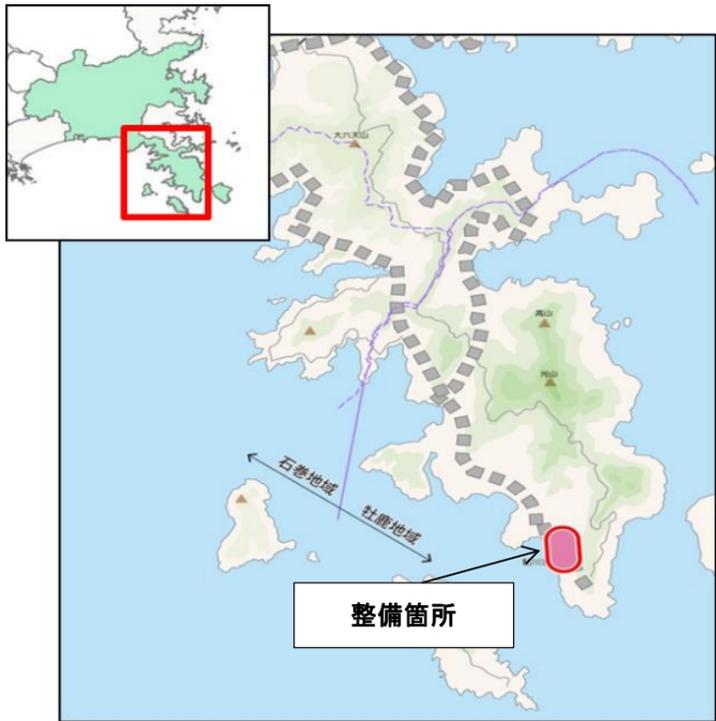
地点No.	調査地点	調査年度						
		H9	H10	H15	H20	H25	H26	H27
1	旧市役所通り	1,617	1,076	745	890	458	634	512
2	アイトピア大町	2,500	2,243	1,028	1,180	492	558	412
3	アイトピア中央銀座	1,627	1,566	1,493	670	504	754	374
4	橋通り	1,631	1,250	2,612	678	558	426	608
5	寿町みなみ通り	1,297	1,076	740	482	430	294	296
6	ことぶき町ポケットパーク	1,885	1,546	926	298	76	272	272
7	ことぶき町	1,798	1,359	1,563	694	588	486	400
8	立町大通り東側	2,521	2,093	2,464	1,369	1,044	871	974
9	立町大通り西側	4,427	3,240	3,019	1,459	1,048	880	1,129
10	駅前大通り	3,290	2,952	3,036	1,172	1,010	812	1,492
11	市役所(旧さくらの)おまさか通り	1,995	1,003	1,920	809	664	789	883
12	穀町大通り	1,978	1,873	1,817	756	846	627	771
13	市役所(旧さくらの)北側	-	-	-	556	1,250	760	776
14	J R 石巻駅東側	-	-	-	-	748	860	790
15	旧まちなか復興マルシェ前	-	-	-	-	1,282	280	808
16	石巻ガス前							310
17	橋通りCOMMON前							510
18	旧観慶丸前							234
継続調査地点 計		26,566	21,277	21,363	10,457	7,718	7,403	8,123
平成9年を1とした場合の伸び率		1.00	0.80	0.80	0.39	0.29	0.28	0.31

表 7-2 調査地点別の歩行者・自転車通行量の推移（休日）

地点No.	調査地点	調査年度						
		H9	H10	H15	H20	H25	H26	H27
1	旧市役所通り	540	704	552	556	350	234	304
2	アイトピア大町	1,876	1,627	1,128	546	496	632	332
3	アイトピア中央銀座	1,357	1,139	1,479	594	438	686	378
4	橋通り	1,634	902	3,508	736	592	606	408
5	寿町みなみ通り	1,311	1,157	695	420	440	338	460
6	ことぶき町ポケットパーク	2,065	1,309	1,442	172	146	162	208
7	ことぶき町	1,442	1,101	1,182	544	602	590	330
8	立町大通り東側	2,070	1,479	1,896	924	1,118	851	644
9	立町大通り西側	3,868	2,671	2,170	928	1,259	846	691
10	駅前大通り	3,857	2,907	3,576	1,016	1,044	976	1,276
11	市役所(旧さくらの)おまさか通り	2,836	1,183	2,470	684	289	345	292
12	穀町大通り	1,895	1,745	1,984	552	510	453	367
13	市役所(旧さくらの)北側	-	-	-	568	1,244	526	448
14	J R 石巻駅東側	-	-	-	-	430	606	384
15	旧まちなか復興マルシェ前	-	-	-	-	890	224	432
16	石巻ガス前							200
17	橋通りCOMMON前							776
18	旧観慶丸前							186
継続調査地点 計		24,751	17,924	22,082	7,672	7,284	6,719	5,690
平成9年を1とした場合の伸び率		1.00	0.72	0.89	0.31	0.29	0.25	0.21

熊野地区防災集団移転促進事業 鮎川浜地区拠点エリア整備事業

<位置図>



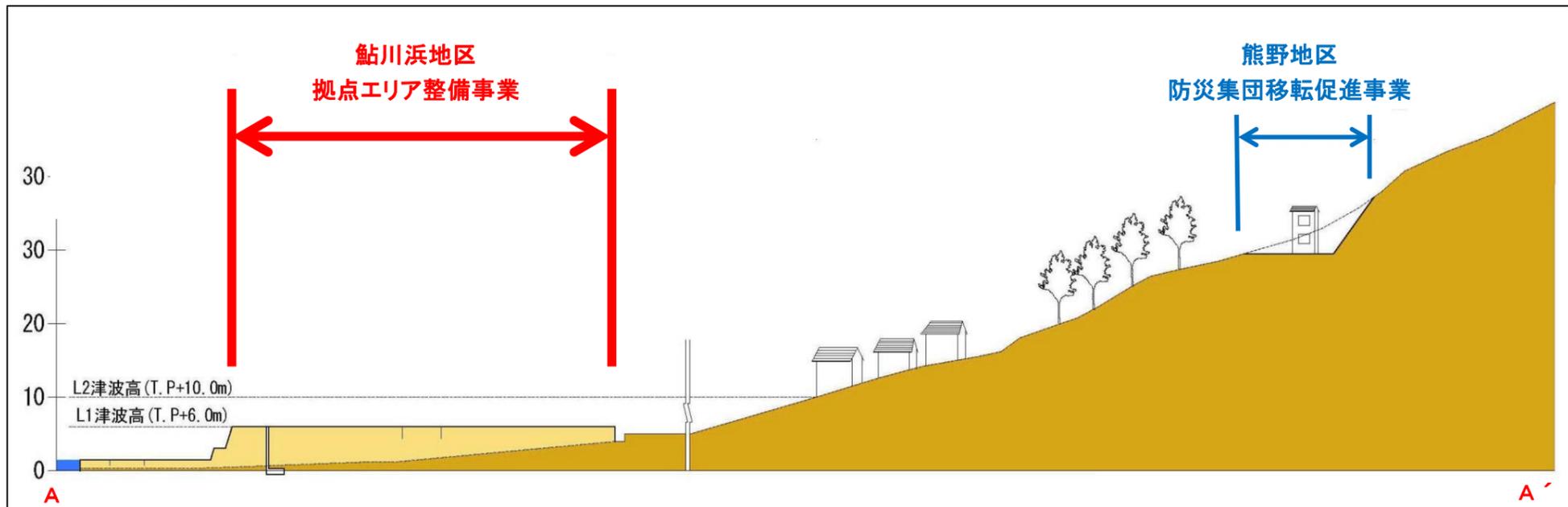
<土地利用計画図>



<完成イメージ>



<A-A'断面図>



石巻市のバス交通体系

分類	運行主体	路線
路線バス	㈱ミヤコーバス	<ul style="list-style-type: none"> ●広域路線（合併前の旧市町をまたぐ路線） <ul style="list-style-type: none"> ・石巻免許センター線〔石巻駅～免許センター～石巻駅〕 ・女川線〔石巻駅～渡波～女川〕 ・鮎川線〔石巻駅～渡波～鮎川〕 ・石巻専修大学線〔石巻駅～石巻専修大学～飯野川〕 ・河南線〔石巻営業所～イオン石巻～河南総合支所〕 ・三陸線〔石巻駅～日赤病院～飯野川〕 ●市単独路線（合併前の旧石巻市内のみを運行する路線） <ul style="list-style-type: none"> ・渡波線〔石巻駅～渡波駅〕 ・日赤渡波線〔日赤病院～渡波〕 ・石巻専修大学線〔石巻駅～ルネッサンス館〕 ・中里線〔石巻駅～日赤病院〕 ・石巻市内線〔石巻駅～網地島ライン～石巻駅〕
住民バス	各地区運行協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●従来路線【デマンド方式】 <ul style="list-style-type: none"> ・山の手地区乗合タクシー ・水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー ・河南地区乗合タクシー ●従来路線【定時定路線】 <ul style="list-style-type: none"> ・荻浜地区住民バス〔1路線〕 ・稲井地域乗合タクシー〔2路線〕 ・河北地区住民バス〔8路線〕 ・雄勝地区住民バス〔4路線〕 ・桃生地区住民バス〔4路線〕 ・北上地区住民バス〔1路線〕
市民バス	石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・牡鹿地区市民バス〔4路線〕

●路線バス運行維持対策補助事業

路線バスの運行主体（ミヤコーバス）に対して、運行費を補助し、移動手段を持たない市民の通院、通学、買い物等の交通手段を確保する。

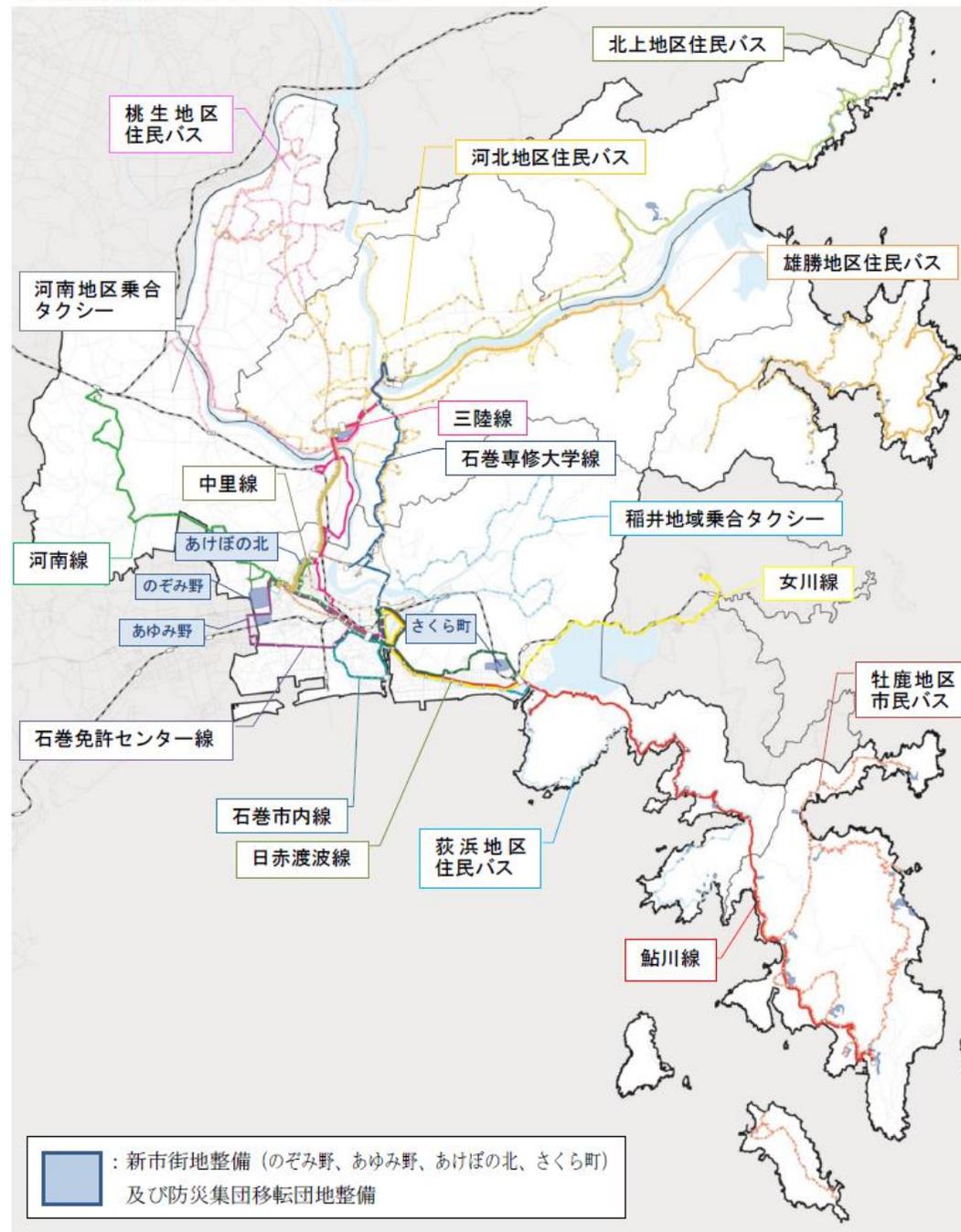
●住民バス運行費補助事業

地域住民の代表者が運営主体となって運行する住民バス及び乗合タクシーの運行事業に対して運行費を補助し、交通弱者の外出・移動を支援する。

●牡鹿市民バス運行事業

外出・移動を支援するため、網地島を含めた牡鹿地区で市民バスの運行を実施する。

【石巻市公共交通ネットワーク（現況）】



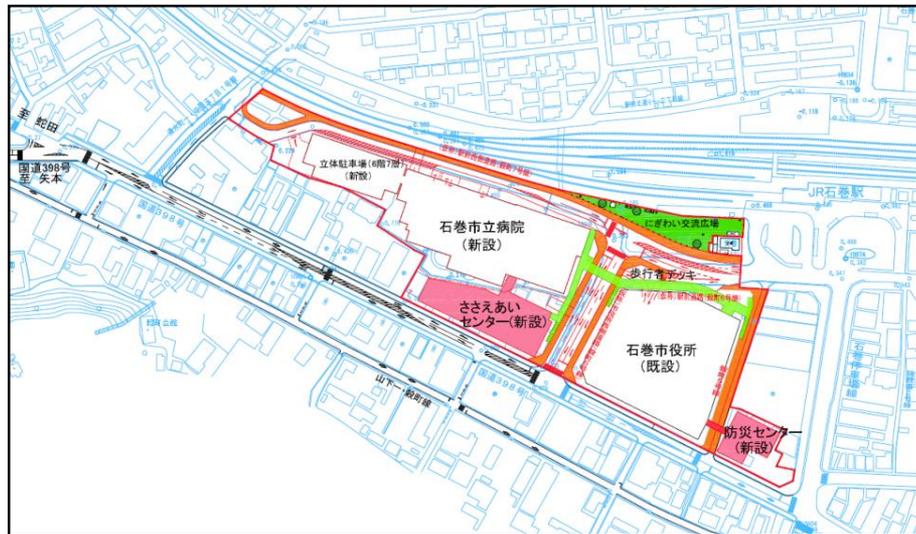
石巻駅周辺地区 津波防災拠点整備事業

○事業の概要

- ・都市施設
石巻駅周辺地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設
- ・都市計画決定 平成26年 8月26日
- ・事業認可 平成26年12月19日
- ・事業面積 約1.4ha (認可)
- ・事業費 約19億7千万円
(第6～15回復興交付金配分済額)

○事業の目的

本市の都市核拠点である石巻駅周辺に市役所等の行政施設、市立病院、商業施設、各種市民生活施設等を集積させ、防災性を高め、コンパクトで人と地球にやさしく、歩いて暮らせるまちづくりを目指すもの。



○整備する主な施設

防災センター

災害時に市民の生命を守り、地域の防災力の向上、事前の情報収集の強化、指揮命令のもとに市民に的確な誘導ができる防災拠点として建設する。(平成29年度完成予定)
敷地面積 約1,200㎡：鉄骨および鉄筋コンクリート構造3階建て(1階部分はピロティー)

ささえあいセンター

医療、福祉および介護など次世代型地域包括ケアの拠点として建設する。また、災害時は石巻駅周辺地区の一時避難所としての機能を有する。(平成30年度完成予定)
敷地面積 約2,900㎡：鉄骨造3階建て(1階部分はピロティー)

歩行者デッキ

駅周辺施設と連携した歩行者の安全な移動空間、市役所、市立病院、ささえあいセンターを2階レベルで接続するため、災害時には避難動線として機能する。(平成30年度完成予定)

にぎわい交流広場

駅周辺施設と連携し、市民が集い、共助できる機会創出のための開放的な屋外空間として整備する。また、災害時には防災広場として、物資の配給等、避難生活を支援する場として機能する。(平成30年度完成予定)整備面積 約1,200㎡

地区内道路

災害時、防災拠点がスムーズに機能する安全な道路形態を実現するため、道路の改良を行う。(平成30年度完成予定)

海岸保全施設整備事業について

1. 事業内容

海岸保全施設のなかった漁港海岸において、東日本大震災により新たに設定された津波防護高さによる防潮堤や水門、陸閘等の整備を行うもの。

2. 事業目的

既存の海岸保全施設については、災害復旧事業により復旧を行うこととなるが、施設のなかった区間や、これまで海岸保全施設がない漁港海岸において防潮堤を整備し、津波や高潮からの被害の軽減を図り、地域住民の生命・財産並びに国土を保全する。

3. 事業計画

単位：千円

番号	漁港名	整備施設	事業期間	総事業費	年度別計画事業費								
					H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32以降	
1	名振	防潮堤、水門、陸閘	H25～H29	685,474	19,474		321,000	307,000	38,000				
2	船越	水門	H25～H30	52,216	1,216				51,000				
3	荒	水門	H25～H27	94,614	2,070	79,544	13,000						
4	十八成浜	防潮堤、水門	H25～H30	802,758	32,488	140,270			196,000	434,000			
5	小淵	防潮堤	H25～H30	92,294	11,294			23,000	30,000	28,000			
6	給分	陸閘	H25～H26	57,450	1,676	55,774							
7	大原	防潮堤、水門、陸閘	H25～H30	146,376	4,018	57,358			35,000	50,000			
8	折ノ浜	防潮堤、陸閘	H25～H29	417,308	19,308			260,000	138,000				
9	北上（小指地区）	防潮堤、陸閘	H31～	298,000								30,000	268,000
10	北上（大室地区）	防潮堤、陸閘	H31～	910,000								50,000	860,000
11	牧ノ浜	防潮堤、陸閘	H31～	1,364,000								60,000	1,304,000
12	蛤浜	防潮堤、陸閘	H31～	395,000								40,000	355,000
13	小竹	防潮堤、水門、陸閘	H31～	490,000								40,000	450,000
計				5,805,490	91,544	332,946	334,000	590,000	488,000	512,000	220,000		3,237,000
				進捗率	2%	7%	13%	23%	32%	40%	44%		100%

1. 事業概要

多重防御の二線堤として津波防災緑地を整備し、比較的頻度が高い津波を上回る津波が発生した際に津波を軽減し、かつ、漂流物を補捉することで、背後に広がる市街地について、これまで通りの土地利用を図る。

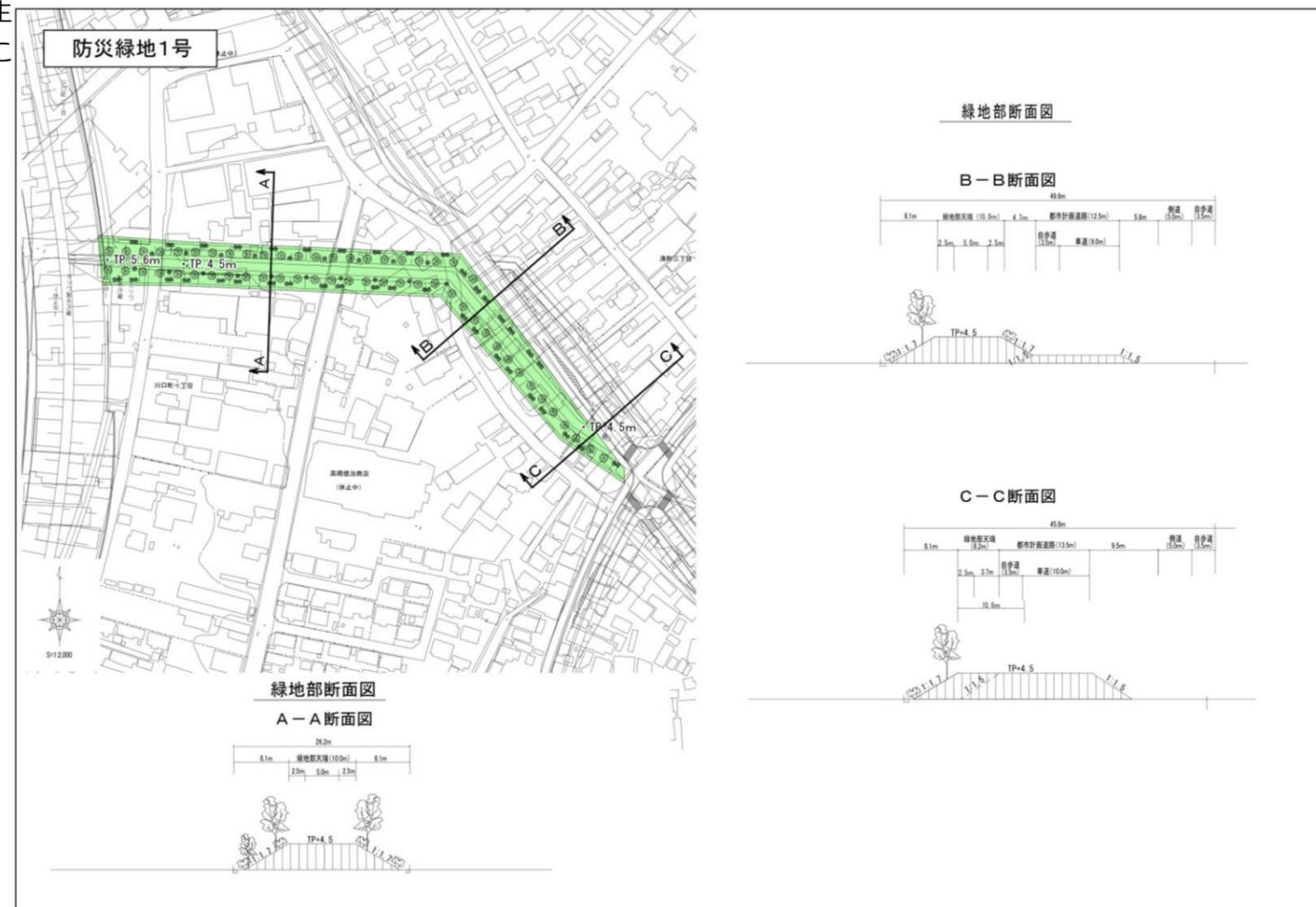
■諸元

面積 約0.88ha 延長 約360m
 計画高 T.P.4.5m
 代表幅員 26.7m

2. 位置図



4. 計画図



3. スケジュール

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度				平成29年度				備考	
	10				4	7	10	1	4	7	10	1		
公園事業 防災緑地1号 約0.88ha	都計審★	★都市計画決定(告示)												完成目標年次:平成29年度
	基本計画	事業検討		基本設計・実施設計		関係機関及び隣接事業との協議・調整								
					既設下水道管敷設計及び工事				造成工事					

完成目標年次:平成29年度

1. 事業概要

多重防御の二線堤として津波防災緑地を整備し、比較的頻度が高い津波を上回る津波が発生した際に津波を軽減し、かつ、漂流物を補捉することで、背後に広がる市街地について、これまで通りの土地利用を図る。

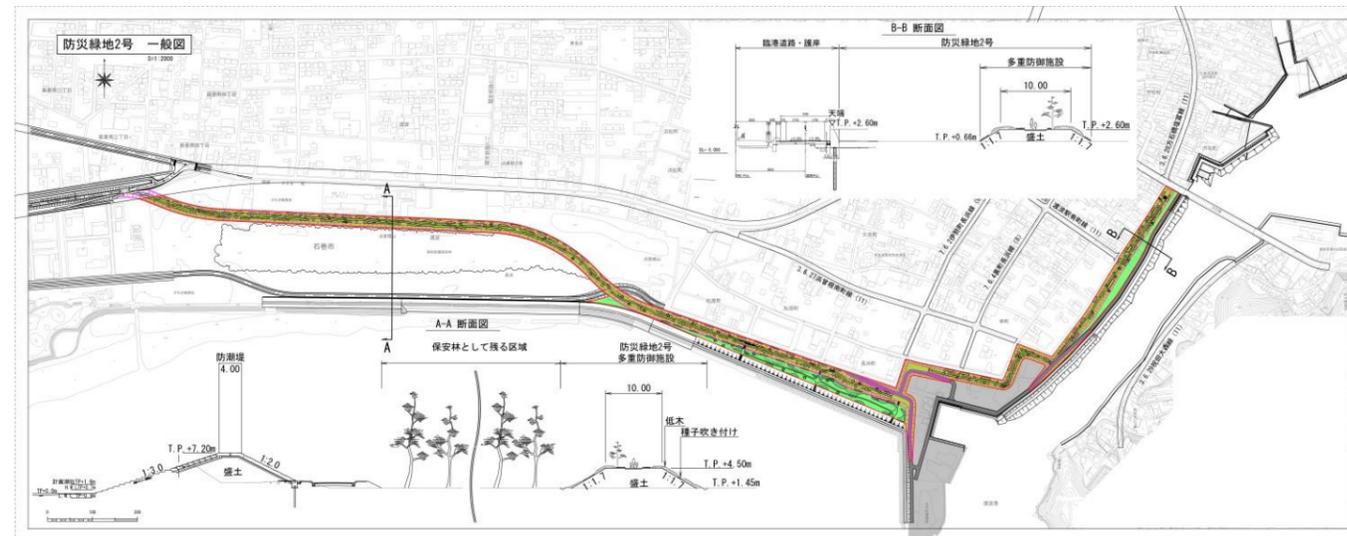
■諸元

面積 約8.8ha 延長 約2.7km
 計画高 T.P.4.5m~T.P.2.6m
 代表幅員 約26m(高盛部分)

2. 位置図



4. 計画図



イメージ図



3. スケジュール

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度	備考	
	10			4	7	10	1	4	7	10	1		
公園事業 防災緑地2号 約8.8ha	都計審 ★	★都市計画決定(告示)											完成目標年次:平成30年度
				★事業認可									
	基本計画	事業検討	基本設計・実施設計・軟弱地盤解析			用地買収			関係機関及び隣接事業との協議・調整				
			造成工事										

完成目標年次：平成30年度

津波避難ビル・津波避難タワー

津波からの避難は、津波が来ない場所や高台へ逃げるのですが、近くに高台がない場合や海岸から遠く離れた場所に避難する時間がない場合には、一時避難場所として避難ビル・避難タワーへの避難をします。

津波避難ビル

津波からの避難が困難な区域内にある民間企業等所有の施設で、要件を満たす施設を津波避難ビルとして指定します。

施設名	所在地	収容人数	協定締結日 (供用開始日)
1.大興水産(株)	魚町二丁目	1,100人	平成24年12月4日
2.はなことば石巻	駅前北通り一丁目	150人	平成25年2月14日
3.宮城エクスプレス(株)	魚町二丁目	788人	平成25年5月13日
4.東海カーボン(株)	重吉町	216人	平成25年6月27日
5.日野測量設計(株)	門脇字浦屋敷	94人	平成25年10月15日
6.石巻祥心会フェイス	湊字鳥井崎	285人	平成25年11月29日
7.石巻港湾合同庁舎	中島町	516人	平成26年6月5日
8.阿部勝自動車工業(株)	三ツ股	138人	平成26年10月23日
9.(株)上野総建	鹿妻南五丁目	116人	平成26年12月22日
10.特別養護老人ホームはしうら	北上町橋浦字大須	1,519人	平成27年3月13日
11.湊水産(株)	吉野町二丁目	130人	平成27年3月16日
12.アムズガーデン石巻湊店	湊字根上り松	2,122人	平成27年4月14日
13.吉野町復興住宅	吉野町一丁目	466人	平成27年4月30日
14.黄金浜第一復興住宅	渡波字黄金浜	647人	平成27年4月30日
15.大街道西第二復興住宅	大街道西二丁目	273人	平成27年9月18日

津波避難タワー

居室部と屋上に約200人が避難することができます。飲料水・食料の備蓄と、太陽光発電による電力確保を行います。

施設名	供用開始日
1.大宮町津波避難タワー	平成27年3月27日
2.魚町一丁目津波避難タワー	平成27年12月15日
3.魚町三丁目津波避難タワー	平成27年12月15日
4.西浜町津波避難タワー	平成28年3月24日



16.大街道北復興住宅	大街道北二丁目	522人	平成27年9月18日
17.黄金浜第二復興住宅	渡波字黄金浜	502人	平成27年9月18日
18.中里一丁目復興住宅	中里一丁目	209人	平成27年12月1日
19.中央第二復興住宅	中央一丁目	270人	平成27年12月1日
20.駅前北通り復興住宅	駅前北通り一丁目	320人	平成27年12月1日
21.不動町復興住宅	不動町二丁目	259人	平成27年12月1日
22.筒場復興住宅	湊字筒場	313人	平成28年3月18日
23.新沼復興住宅	渡波字新沼	252人	平成28年3月18日
24.協業組合石巻廃棄物処理センター	門脇字明神	171名	平成28年3月31日

●防災マリーナ整備事業について

- 旧北上川河口部に災害発生時に流失の懸念がある河川内の小型船舶等を收容する『防災マリーナ』を整備。
- 市内中心部や既成市街地の防災性・安全性の向上を図る。

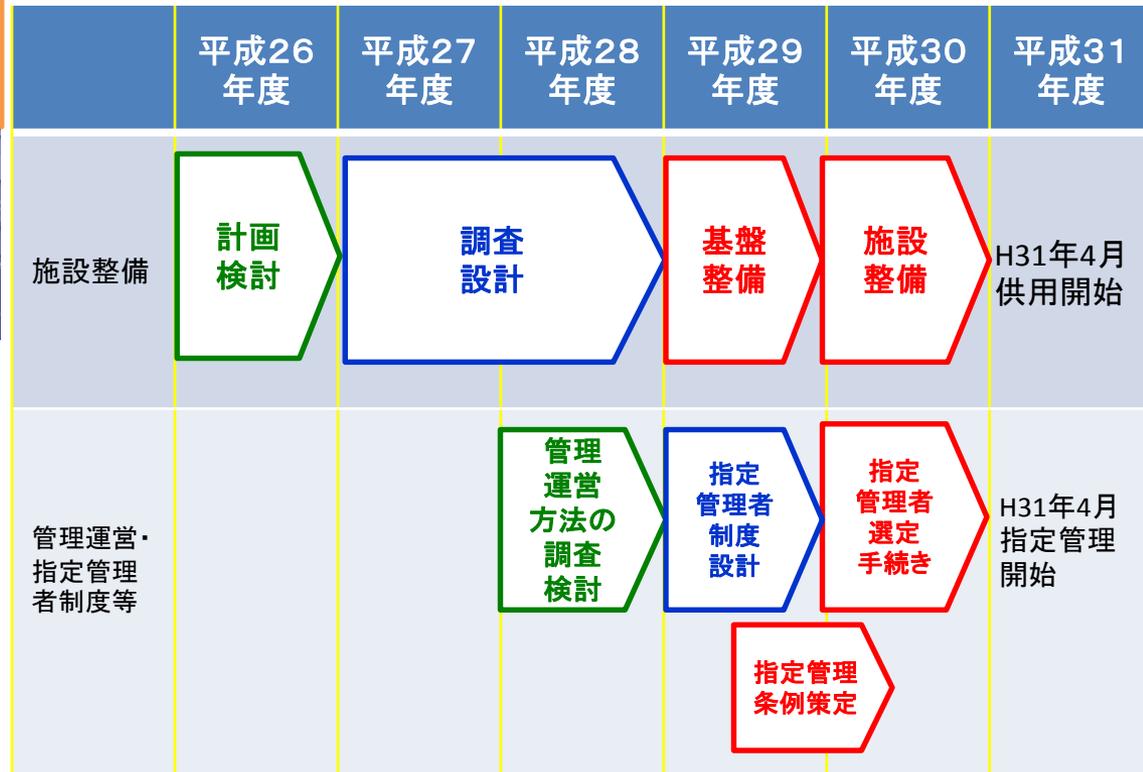
河川内に無秩序に係留されている長期係留船舶（震災前約370隻、震災後約80隻）

東日本大震災においては、旧北上川に係留していた小型船舶等が市街地に流失して被害が拡大。



防災マリーナの整備

・防災マリーナに集約し適正に係留することで再度災害（津波・洪水・高潮等）発生時における、河川内係留船の市街地への流出、油漏れや沈潜による環境被害を防止する。



【空き家等活用・移住促進事業】

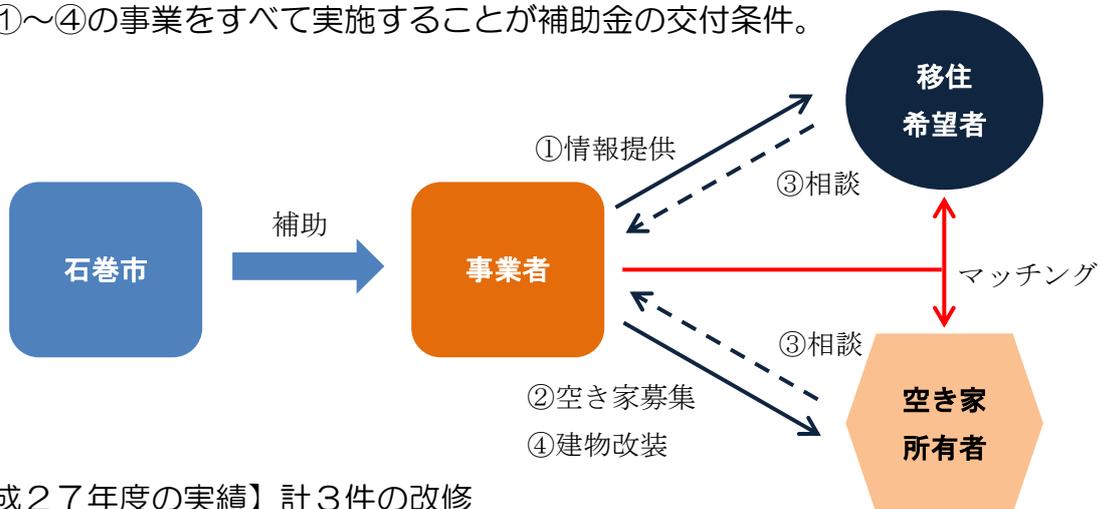
【事業概要】

空き家、空き店舗及びそれらの一部を活用して、移住希望者及び中長期滞在希望者向けの居住施設を整備するとともに、移住希望者等が定着するための取組みを実施する事業者に対して補助金を交付するもの。

【補助対象事業および補助率等】

項目		事業内容	補助率	上限額
ソフト	① 移住希望者等向け情報提供事業	移住希望者を募集するためのウェブサイトの構築、パンフレットの作成、説明会、セミナーの開催等	10割	1団体あたり300万
	② 受入態勢整備調査事業	空き家を提供する建物所有者を募集するためのウェブサイトの構築、パンフレットの作成、説明会、セミナーの開催等		
	③ 相談等事業	移住希望者が入居した場合に、定着するための相談会や地元との交流会の実施		
ハード	④ 建物改装事業	移住希望者を受け入れるための居住機能及び入居後の交流を行うための機能を整備するための建物改装、設備設置	5割	1件あたり400万

※①～④の事業をすべて実施することが補助金の交付条件。



【平成27年度の実績】計3件の改修

○中央二丁目・・・床張替え、屋根修繕、キッチン補修等

アーティストが居住できる空間として整備、Reborn-ArtFestivalに参加するアーティスト7月から入居予定。

○山下町・・・下水配管工事、便器リフォーム等

仙台市から移住した石巻若者サポートステーションの職員が、自室兼シェルーターとして活用。

○鮎川・・・浴室の修繕、内部仕上の修繕等

地域コミュニティスペース兼シェアハウスにリノベーションし、コミュニティスペースを移住者が運営できる施設として改修